

平成26年度 部局長マネジメント方針

かわかみ ただし
水道総務部長 川上 忠司



仕事に対する基本姿勢

水道事業の使命は蛇口をひねれば清浄なおいしい水が豊富に出てくる、そんな当たり前な安心を、適正な料金で継続的にお届けすることです。

これらのサービスを皆さまに提供するにはさまざまな経費がかかり、そのほとんどは皆さまがお支払いになる水道料金で賄われています。

景気は上昇傾向にあるとは言うものの、いまだ実感に至らない状況の下、人口の減少、さまざまな節水機器の普及、大震災を契機とするさらなる省エネルギー意識の浸透、等々節水型社会の進展により、本市においては昨夏の猛暑にもかかわらず水需要は減少し続けています。

それに伴い収入源である水道料金も減少傾向にあります。

一方、支出面では高度成長期に建設した施設が老朽化し更新時期を迎えていることや、近い将来必ず発生するといわれる大震災等に備え災害に強い施設の構築など多額の費用を要し水道事業の経営環境はますます厳しさを増しています。

蛇口から飲める安全で安心な水を将来にわたって継続的にお届けし、快適で安全なまちづくりを進めるために、より一層の健全経営に努めてまいります。

平成26年度に取り組む重点課題

厳しい水需要の下、健全経営に取り組めます

・ 職員の経営意識の向上をはかる

仕事に取り組むに際しては「どうすればできるか」という前向きな発想の下、努力と創意工夫をします。

また、業務の効率化を推進し、企業職員としての自覚をより養い、職員一人ひとりがさらにコスト意識を高め、経費の削減に努めてまいります。

資金管理にあたっては、綿密な資金計画の下、安全性を最優先し適正な資金を十分確保

したうえで効率的な資金運用による増収に努めてまいります。

・未収金を減少させ健全経営の推進をはかる

水道を使用する皆さまにご負担いただくべき水道料金について、未納の方があるときちんとお支払いいただいた方の水道料金だけで事業運営を賄うことになり、ひいては経営を圧迫することにもなります。

よってお客様間の公平性を保ち、水道料金の収入を確保し健全経営を推進するため、上下水道職員が一体となって滞納額の削減に努めてまいります。

実情に応じた納付相談の充実や、休日等の特別徴収の実施や給水の停止など、未収金対策を強化してまいります。